

第2回 11月15日(火)【都市像ごとの検討】

※主なご意見をまとめたものです。

“協働と自立のまちづくり”グループ


『ここで生まれて ここで死ねて いかったテーと思える新潟』

地域の強いコミュニティ 地域の結束力があり、各種団体の連携も良い。 コミュニティを立ち上げる方向性が示されていて良い。	市民が地域づくりの意思決定にもっと関わる 市民の声を行政が聞こうとする姿勢がある。 市民の意見が地域づくりに反映される場面が少ない。	地域の施設を教育に活用 子ども達が気楽に入れる施設が少ない。 教育施設、体育施設をもっと有効に活用していきたい。
お年寄り・子ども・障害者も出歩けるまち 地域巡回バスは高齢者には便利。 今後高齢化が進んでいくので、公共施設のバリアフリー化を更に進めてほしい。	地域ぐるみの防災対策の充実 児童を安全に守るためのパトロールが強化されており、住民の防犯意識が高まっている。 いざという時の防災意識や体制がまだ薄い。	

“都市と自然が調和する新しいまちづくり”グループ

『都市と自然の一体化 めざせ政令市 Only No.1 評価指標でチェックを!』

自然をみがく 水鳥が都市の上空を飛び交い、水辺の豊かさを感じる。 四季の広大な田園風景が素晴らしい。 海岸線の松林などの管理が悪い。 子どもたちが自然の中で遊んでいない。	自然(農)と人の結びつきを深める 農家と都市の接点が薄い。 都市のスプロール化が進んでいる。 環境に対する意識づくり(教育) 道に雑草やポイ捨てゴミが目立つ。 ゴミの不法投棄が多く意識が低い。	都市をみがく 都市として大きすぎないのが良い。 公共スペースや新興住宅街に緑が少ない。
--	--	--



“にぎわいのある魅力的なまちづくり”グループ

『にいがた人が創り育てる未来のにいがた』

今あるものを活かしながら常に新しい発見のある街 朝市やオープンカフェなどのイベントが多くなり活気が出てきた。 新潟の方言はおもしろい。人情豊かなイメージ。 今いる魅力的な人たちをもっと活かしたらどうか？ 素材(人財・新潟の宝物)は抜群なのに控えてPRが下手だ。	本物のおいしさを追求した農づくり 合併により農村地域が含まれ農業にも活気が出てきた。 酒・食べ物などがおいしい。 地域の特性を活かした産業の活性化で、地産地消・地産外消を図る。 「新潟=米どころ」という認識をもっと有効活用したい。	ワールドワイドなにいがた 東アジアに面した国際拠点の街。 海外の人たちとの交流が日常的にあると良い。
---	--	---

第3回 11月27日(日)【提言】

※主なご意見をまとめたものです。

“協働と自立のまちづくり”グループ

『ここで生まれて ここで死ねて いかったテーと思える新潟』

◎子どもを生み、育てやすい環境づくりで人口減をストップさせます ●市民の出産・育児費用負担を軽減。 ●休暇のとりやすい雇用形態への改善。 ●地域の人材を活用して保育施設の欠陥を改善する！	◎地域に人々が住みつけられる環境づくり ●出生～成人～老年に至るまで、市民と取り組む“教育”環境をつくる。 ●地域ごとに福祉や教育施設を充実させます。
◎元気なお年寄りが活躍できる場づくり ●学校の空き教室を地域の老人クラブなどに開放して、児童とのコミュニケーションを図る。 ●元気なお年寄りが参加できるよう、キッカケづくりが必要。キッカケになる「リーダー養成」に力を入れる。	◎お年寄りがひきこもらない地域づくり ●新潟の巣鴨をつくる。 ●お年寄りが安心して集まれる地域をつくる。
	◎世代間、地域間の交流連携の仕組みづくり ●“みんなが新潟市のサポーター！”各年代層の意見交流の場をつくり反映させていく。 ●自治会ごとの防災・防犯体制を整備する。



“都市と自然が調和する新しいまちづくり”グループ

『都市と自然の一体化 めざせ政令市 Only No.1 評価指標でチェックを!』

◎自然をみがく 親水性を高める ●子どもが自然の中で遊べる空間を増やす。 ●海岸の松林を守る市民グループのネットワーク構築。 美しい水田を守る環境づくり ●農業後継者を育て、環境保存型農業を促進する。 ●休耕地の活用を図る。(市民農園、小鳥生息地としてetc)	◎都市をみがく 緑とやすらぎの都市空間 ●身近の緑をみんなで守りましょう。 ●公共スペースに緑を増やしましょう。 交通の自由 ●使いやすい公共交通を整備しましょう。 ●住民にやさしい“道”づくりをしましょう。
◎自然(農)と人の結びつきを深める ●援農ボランティアによる、農と人との交流促進。 ●「都市と自然「人と農業」を結びつけるツールをつくる」	◎環境に対する意識づくり(教育) ●市民のモラル向上を図る。 ●子どもの教育のために、まずは大人の教育を。



“にぎわいのある魅力的なまちづくり”グループ

『にいがた人が創り育てる未来のにいがた』

◎今あるものを活かしながら常に新しい発見のある街 ●日本一の市場をつくる(拠点) & 各地域の市場をピックアップ(特徴ある市場) 見て、食べることができる市場(せりの見学などを開催する) ●今いる魅力的な人財を知る。若年層と高齢者のふれあいの場をつくり人財を発見。主たる人たてでイベントを企画・継続してゆく。 ●今ある新潟市全体を知る 市民の力で新潟市を巡るツアーを企画、運営。(市場・名勝・史跡ツアーetc) 各地域の歴史・文化を知るために、住民の協力を得てボランティアやNPO団体でPR部隊をつくる。	◎本物のおいしさを追求した農づくり ●農業への理解を深める。指導者(生産者)のいる市民農園をつくる。農家が企画する体験農業への参加を、若い人たちにすすめる。 ●新潟市の安心・安全な食のPR 市民が「知る」ことから始めよう。調理教育現場と一般市民のつながりを持ち、新潟の食材を使ったレシピを伝える料理教室を開催する。
	◎ワールドワイドなにいがた ●食を通じて海外の人たちとの日常的な交流を図る。 ●世界に誇れる新潟の人財、歴史・文化などを海外へPRしていこう。

